

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

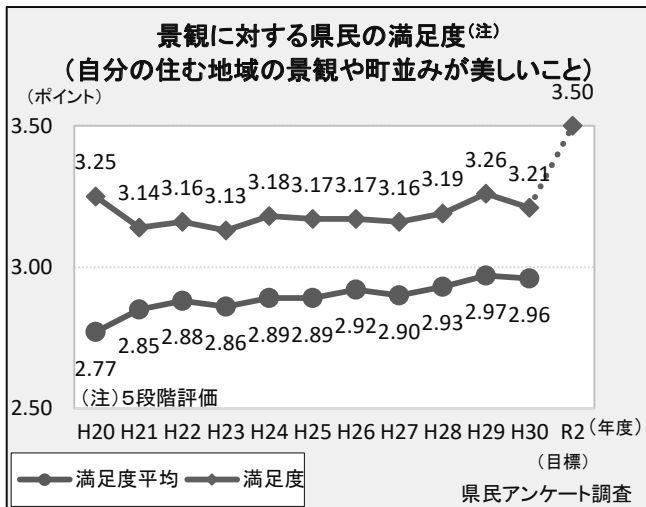
愛着と誇りの持てる「きれいな奈良県」の実現

目指す姿

令和2(2020)年度までに、県民アンケート調査における景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)を3.50ポイントにします。

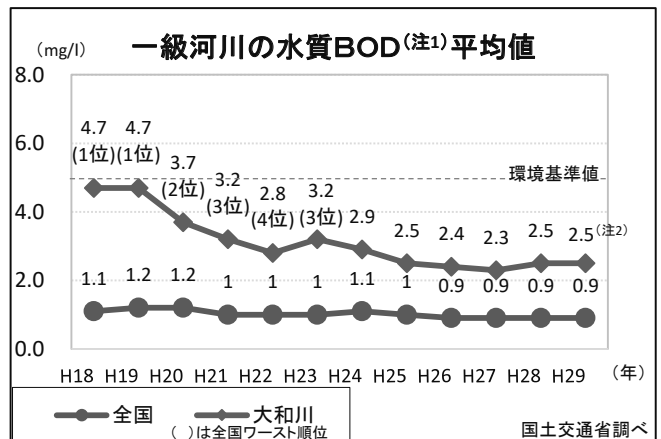
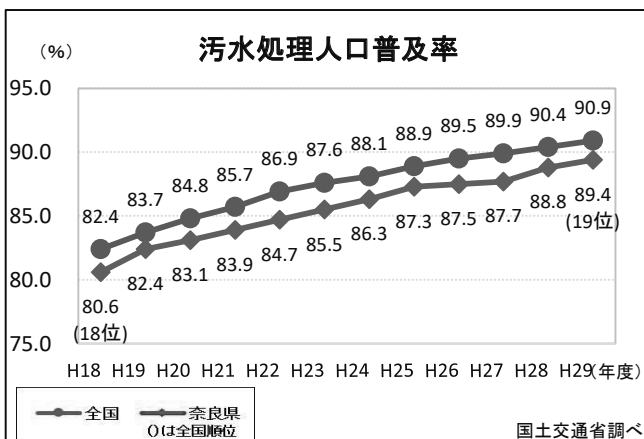
主担当部局(長)名
景観・環境局長 柘田 斉志

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



指標	景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)(ポイント)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	3.25		3.21	▲16.0%	3.50
進捗状況	H20(2008)	0.04ポイント	H30(2018)	10/12年目	R2(2020)
	奈良県植栽計画に基づく「なら四季彩の庭」づくりの推進、建築物・屋外広告物等の規制誘導、大和川の水質改善等により、良好な景観を守り、創り、育て、活用する取組を進め、県民アンケート調査では、景観に対する県民の満足度は3.21ポイントで、全項目の満足度平均と比べて高い状態を維持していますが、平成20年度の基準値から0.04ポイント減少しました。				

2. 現状分析

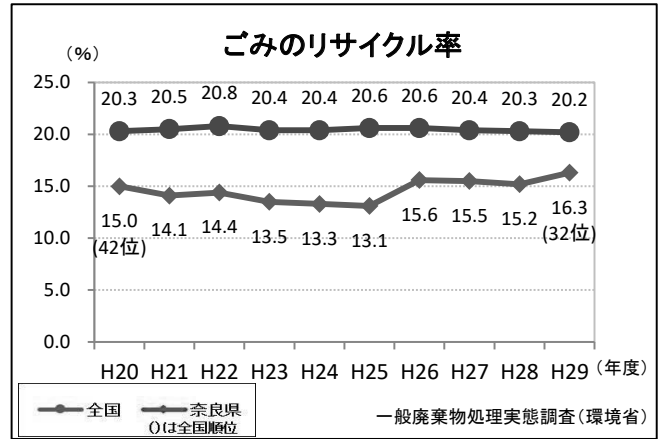
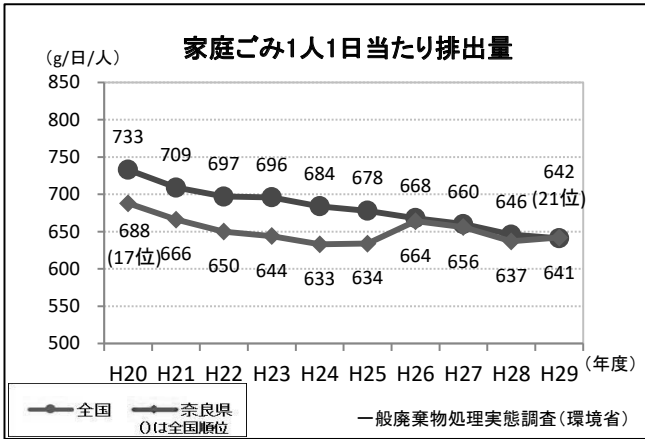


平成29年度の汚水処理人口普及率は89.4%となり、前年度から0.6ポイント増加し、全国平均と同程度で推移しています。(→戦略2)

平成29年の大和川の水質BOD平均値は2.5mg/lで、汚水処理人口普及率の増加とともに改善しています。(→戦略2)

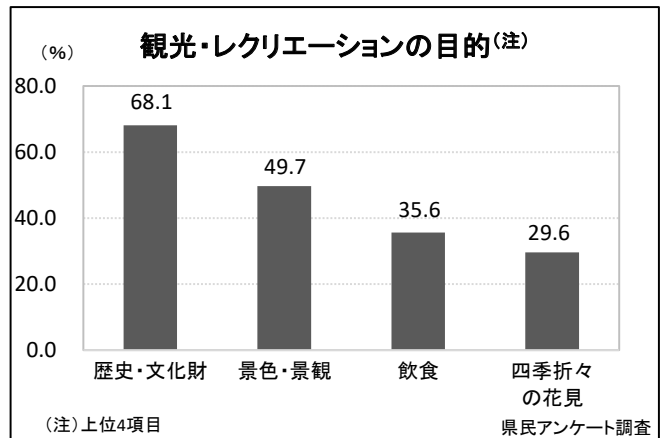
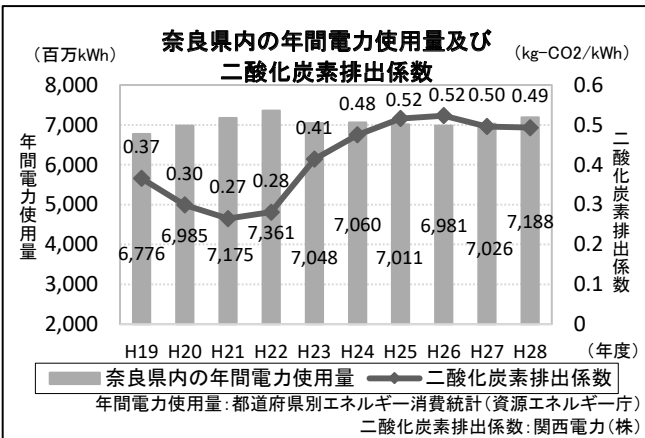
(注1)BOD…河川の水質を測る代表的な指標。数値が大きいほど汚濁が進んでいます。

(注2)平成24年度から全国順位は公表されていません。



平成29年度の家庭ごみ1人1日当たり排出量は642gで、前年度から0.8%増加しましたが、過去10年間では6.7%の減少傾向にあり、全国平均と同程度となっています。(→戦略2)

平成29年度のごみのリサイクル率は16.3%で、前年度から1.1ポイント増加し、全国平均との差が縮小しました。(→戦略2)



平成28年度の年間電力使用量は7,188百万kWhで、前年度から2.3%増加しています。一方、平成28年度の二酸化炭素排出係数は、再生可能エネルギーの導入等により0.49kg-CO₂/kWhとなり、前年度から2.0%減少しています。(→戦略2)

「景色・景観(美しい景色や風情ある景観)」を観光・レクリエーションの目的として考える県民の割合が「歴史・文化財」の次に高くなっています。(→戦略1)

3. 平成29年度の評価及び平成30年度の取組等を踏まえ、令和元年度に向けて見直した内容

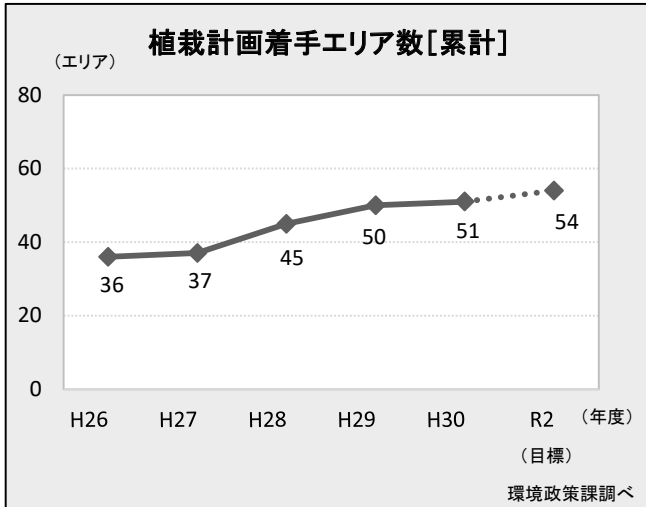
「なら四季彩の庭」づくりを全県的・継続的な県民運動として促進するため、令和元年度に「(仮称)奈良県植栽条例」を制定する取り組みを進めるとともに、新規エリアの拡充を図ります。

4. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 奈良県植栽計画の推進と良好な都市・沿道景観の形成に向けた取組により、奈良らしい景観づくりを進めます。

主担当課(長)名
環境政策課長 西井 保喜

戦略目標



植栽計画着手エリア数[累計](エリア)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
①	36	↑	51	83.3%	54
	H26 (2014)	15 エリア	H30 (2018)	$\frac{4}{6}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	平成30年度までに事業着手したエリアは51エリアで、目標に向かって順調に進捗しています。 ※計画エリア数[累計] H26:48エリア H30:56エリア(うちH30新規:五條北の玄関口、賀名生)				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
②	中和幹線沿道市町における屋外広告物規制条例規則を改正・施行した市町村数[累計](市町村)	0	↑	5	100.0%	5
	沿道5市町と締結した「中和幹線沿道の屋外広告景観向上に関する協定」に基づき、5市町全てで規制条例規則が改正・施行され、目標を達成しました。	H29 (2017)	5 市町	H30 (2018)	$\frac{1}{1}$ 年目	H30 (2018)

主な取組指標等

植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進(①)		
植栽計画策定エリア数[累計](エリア)		
48	↑	56
H26 (2014)	8 エリア	H30 (2018)

中和幹線沿道における屋外広告物対策(②)		
沿道5市町の条例規則に不適格な広告物に対する修景完了広告物の割合(%)		
0	↑	9
H29 (2017)	9 ポイント	H30 (2018)

目標達成に向けた成果

平成30年度に「なら四季彩の庭」ホームページを開設し、エリア各処方の進捗状況や市町村・地元団体等の取組を見える化・発信することで、植栽計画の普及・啓発を行いました。(①)

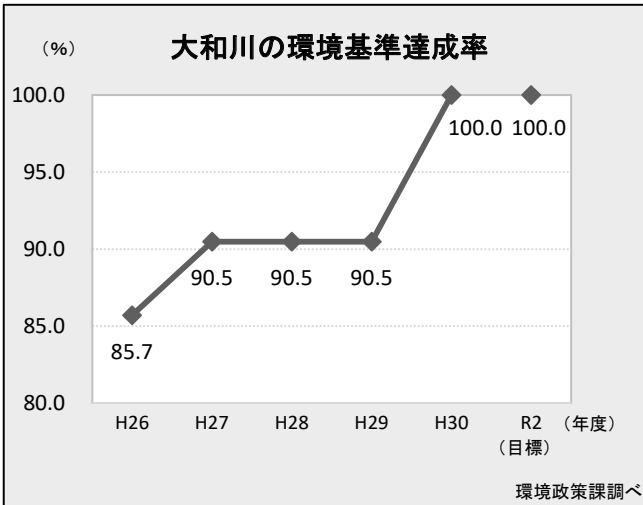
戦略2

生活排水対策をはじめ、3Rや省エネ・節電等の取組を促進し、環境負荷を低減します。

主担当課(長)名

環境政策課長 西井 保喜

戦略目標



大和川の環境基準達成率 (%)					
指標	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
①	85.7	↑	100	100.0%	100
	H26 (2014)	14.3 ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{6}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	下水道整備及び合併処理浄化槽設置の促進、官民連携による大和川一斉清掃等の取組により、大和川の環境基準達成率は、平成30年度に100%となり、目標を達成しました。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
② 一般廃棄物最終処分量※(千トン)	市町村におけるごみ減量化の取組が進み、平成29年度の一般廃棄物最終処分量は、基準値から11千トン減少し、ごみの減量化が進んでいます。	61	↑	50	73.3%	46
		H27 (2015)	11 千トン	H29 (2017)	$\frac{2}{7}$ 年目	R4 (2022)
③ 温室効果ガス排出量※(万トン)	省エネ・節電、創エネに取り組んだ結果、平成28年度の温室効果ガス排出量は、基準値から20万トン減少し、創エネ・省エネの取組が進んでいます。	781	↑	761	8.3%	540
		H25 (2013)	20 万トン	H28 (2016)	$\frac{3}{17}$ 年目	R12 (2030)

※は数値の低い方が良くなる指標です。

主な取組指標等

「大和川のきれい化」推進(①)		
単独処理浄化槽数※(基)		
76,457	↑	70,391
H24 (2012)	7.9 %	H29 (2017)

「循環型の生活スタイル」推進(②)		
不法投棄等に係る通報件数※(件)		
105	↑	61
H25 (2013)	41.9 %	H30 (2018)

※は数値の低い方が良くなる指標です。

目標達成に向けた成果

水質改善が遅れている大和川の支川のうち、高田川・土庫川・葛城川を対象に、「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」のもとに、県、流域市町、地元団体等による実践部会を設置し、水質改善や水辺空間づくりの実践計画を策定・推進しました。(①)

5. 令和2年度に向けた課題の明確化

目指す姿(再掲)

令和2(2020)年度までに、県民アンケート調査における景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)を3.50ポイントにします。

<奈良県の持っている強み>

- 1 歴史文化遺産や自然環境に恵まれた美しい景観(国宝・重要文化財: 1,327件・全国3位、史跡名勝天然記念物: 146件・全国1位)
- 2 個別の法規による広範囲にわたる景観規制地域(都市計画区域内の風致地区面積割合: 全国1位、県土に占める自然環境保全地域等面積割合: 全国3位)
- 3 平成24年度に奈良県植栽景観整備指針を策定
- 4 平成25年度に奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)を策定
- 5 「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会による企業・団体・市町村との連携・協働
- 6 平成30年度に中和幹線沿道5市町で屋外広告物の規制条例規則を改正・施行

<奈良県の抱えている弱み>

- 7 奈良の玄関口となる駅周辺の景観整備が十分ではない
- 8 大和川の支川別に見ると水質改善が進んでない河川が存在
- 9 汚水処理が進みにくい山間部が多い
- 10 家庭部門におけるCO2排出割合が高い
- 11 事業系一般廃棄物(オフィス・飲食店等から排出されるごみ)の排出量が多い
- 12 ごみのリサイクル率が低い

<奈良県への追い風>

- a 観光・レクリエーションの目的として、「景色・景観」を挙げる県民が多い
- b 道路沿いの草刈りについて多くの県民が行政に期待
- c 地球温暖化、ごみ問題に関心が高い

<奈良県への向かい風>

- d 市街地・幹線道路沿道における派手な色彩の建築物や屋外広告物等により地域の魅力が低下

《強みで追い風を活かす課題》

- [重要課題]「なら四季彩の庭」づくりの推進(1,2,3,4,5,a,b)
- [重要課題]「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会で策定した行動計画に掲げる「大和川のきれい化」「奈良らしい景観づくり」「循環型の生活スタイル」の実践活動の促進(5,c)

《強みで向かい風を克服する課題》

- [重要課題]沿道市町と協働した中和幹線沿道における屋外広告物対策(1,5,6,d)

《弱みを踏まえ追い風を活かす課題》

- [重要課題]家庭での生活排水対策(8,9,c)
- ・「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進(10,c)
- [重要課題]一般廃棄物の減量化・再生利用の推進(11,12,c)

《弱みを踏まえ向かい風に備える課題》

- [重要課題]奈良の玄関口となる駅周辺の景観整備(7,d)

6. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえた、令和2年度以降の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
「なら四季彩の庭」づくりの推進(戦略1)	令和元年度に制定予定の「(仮称)奈良県植栽条例」に基づき、全県的・継続的な県民運動を促進するため、市町村、住民等との協働スキームを構築・推進します。引き続き、市町村と連携して、新規エリアの拡充を図りながら、ホームページやジャーナル等による普及・啓発に取り組みます。
「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会で策定した行動計画に掲げる「大和川のきれい化」「循環型の生活スタイル」の実践活動の促進(戦略2)	「大和川のきれい化」 大和川の環境基準達成率は100%となりましたが、支川別に見ると水質改善が進んでいない河川が存在するため、水質改善強化が必要な河川毎に部会を設置し、企業・団体、市町村等が連携して水質改善やきれいな水辺空間づくりを推進します。 「循環型の生活スタイル」 ごみ処理広域化の取組の進捗管理及び長期的視野に立った更なる広域化の枠組みづくりの検討を行います。また、ジャーナルやイベントでの情報発信等により、「循環型の生活スタイル」の定着を推進します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
家庭での生活排水対策(戦略2)	汚水処理人口普及率は年々増加していますが、更なる下水道の普及促進を図るとともに、山間部では普及が進みにくい地域も多いことから、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進します。また、水質の見える化を図り、市町村と連携し、地域の特性に応じた汚い水を流さない生活スタイルの普及を進めます。
一般廃棄物の減量化・再生利用の推進(戦略2)	家庭ごみ1人1日あたり排出量やごみのリサイクル率について全国平均との差が縮まりつつある中で、奈良モデルによる「ごみ処理の広域化」の取組を継続・発展させ、更なるごみの減量化に向けて、地域特性に適した3R(リデュース・リユース・リサイクル)等を進めます。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
沿道市町と協働した中和幹線沿道における屋外広告物対策(戦略1)	中和幹線の沿道5市町全てで、屋外広告物規制条例規則を平成30年10月1日より改正・施行したことから、それらの条例規則に基づき、不適格広告物の是正・誘導を、県と沿道市町で連携して行います。

7. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえ、令和2年度以降に見直す内容

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
奈良の玄関口となる駅周辺の景観整備(戦略1)	奈良の玄関口となる駅周辺の景観について、魅力を低下させる原因となる派手な色彩の屋外広告物等の問題を解決するため、歩行空間や案内サイン等の検討・計画に合わせた景観デザイン(案)を作成するとともに、関係者と合意形成を図りながら事業化を促進します。